

平成25年度 事業別予算概要

事業名	41400	休日診療事業費	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	市長公約
番枝				款	4 衛生費		分野	5 健康・保健・医療		
担当課	市民保健部 医療課		2801	項	1 保健衛生費		基本施策	2 いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	実施計画事業	休日診療事業
				目	4 地域医療対策費		施策	1 地域医療体制の充実	H25実施計画額	16,000 千円

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市民が休日等に急病になったときに受診できる医療体制を整え、市民全体が安心して暮らせるようにする	概要	事業の実手法(手段)	・1次救急医療確保の一環として、休日の医科及び歯科診療所を開設
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	休日診療所開設状況 〔医科〕 68日開設 患者数1,660人 〔歯科〕 52日開設 患者数 132人							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	延べ診療日数	日	目標値	68	68	70	69
		実績値	68	68				
	算出根拠等	診療実日数/年		達成率(%)	100	100		
	成果指標	延べ利用患者数(医科)	人	目標値				
		実績値	1,408	1,660				
	算出根拠等	延べ患者数/年		達成率(%)				
	成果指標	延べ利用患者数(歯科)	人	目標値				
		実績値	138	132				
	算出根拠等	延べ患者数/年		達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・軽症患者の2次・3次救急医療機関利用回避のため、1次救急機関である休日診療所の利用を市民に周知する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・定期的に広報誌に掲載し、休日診療所の利用を呼び掛けている。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・休日の救急医療の確保は、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境整備のため重要であり、今後も休日診療所を継続する</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・利用状況の把握・検証を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	・休日の救急医療の確保は、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境整備のため重要であり、今後も休日診療所を継続する		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	・利用状況の把握・検証を行う必要がある。		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	・休日の救急医療の確保は、市民がいつでも安心して医療を受けられる環境整備のため重要であり、今後も休日診療所を継続する															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	・利用状況の把握・検証を行う必要がある。																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	15,256	16,562	16,583	22,087
	受益者1件当たり(円) (A/B)	163	178	179	238
	受益者:市民 (B)	93,822	93,212	92,861	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	一時救急医療確保の一環としての休日医科・歯科診療所の開設	要求のポイント	休日医科・歯科診療所の管理運営経費 ・歯科診療機器の更新	事業実施の課題	医療スタッフの確保
------	------------------------------	---------	---------------------------------	---------	-----------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		16,583	22,087	5,504	20,393	20,393	・積算内容を精査 ・歯科診療機器1台更新	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	13,049	13,665	616	13,488	13,488		
	一般財源	3,534	8,422	4,888	6,905	6,905		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	41410	地域医療対策事業費	内線	2801	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「やさしさ」のあるまちをめざして	根拠計画	実施計画事業	医師確保等支援事業 救急医療体制整備事業 医療施設整備事業	市長公約	57 医療・福祉を充実させます ・地域医療を充実させるため、医療機関への支援額を増額します 将来を担う子どもを守り育てます ・産婦人科医の招へいも含め、周産期医療の拡充を行います
	番枝					款	4	衛生費		分野	5	健康・保健・医療					
担当課	市民保健部 医療課					項	1	保健衛生費		基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する					
						目	4	地域医療対策費		施策	1	地域医療体制の充実、救急医療体制の整備					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市民が安心して医療を受けられるよう地域全体における医療体制及び救急医療体制の確保と充実を図り、医療スタッフの疲弊を解消する	概要	事業の実手法(手段)	市内中核病院への支援 ・医師及び臨床研修医等の確保に対する支援 救急医療体制の確保 ・高度医療機器整備に対する助成 他 ・救急医療施設(救命救急センター等)の運営費の助成 ・小児夜間初期救急診療運営費の助成 ・24時間健康医療相談の実施や救急早見表の配布
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・高山日赤・久美愛厚生病院へ医師確保や医療機器整備等に対する助成を実施 ・久美愛厚生病院移転に係る建設費等に対する助成を実施 ・高山日赤病院の救命救急センター運営費等の助成を実施 ・24時間健康医療相談の実施 ・医学生等向けセミナーの実施 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	市内救急医療機関数(2次、3次)	箇所	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2		
算出根拠等			達成率(%)	100	100		
成果指標	市内中核病院の医師数	人	目標値	124	124	124	124
			実績値	97	100		
算出根拠等	4月1日現在		達成率(%)	78	81		
成果指標	救急医療機関(2次、3次)利用者数	人	目標値				
			実績値	19,846	20,564		
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域全体で医師不足が続いており、中核病院が行う医師確保や看護師確保につながる環境整備に対し引き続き支援が必要
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・地域中核病院の医療体制の充実向上のため引き続き支援を行う ・地域全体の医師確保のため、各方面の働き掛けや医学生等向けセミナーの開催を行う	
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・中核となる医療機関の医師等医療従事者の確保支援等について引き続き事業を実施する ・市民全体の医療環境の充実につながる中核病院の医療機器等の支援を引き続き実施する ・救急医療施設の運営支援については、市民が安心して暮らせるための基本であり、引き続き事業を実施する ・地元出身医学生等を対象にしたセミナーを開催するなど将来の医療従事者の養成事業を実施する
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への24時間電話医療相談窓口の周知やコンビニ受診防止に向けた啓発を継続的に行う必要がある。 ・医師確保に向けた積極的な活動を行う必要がある。 ・医療機関への支援については、これまでの支援による効果の検証と医療機関の状況を踏まえた見直しを行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	194,206	403,155	402,617	426,026
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,070	4,325	4,336	4,588
	受益者:市民	(B)	93,822	93,212	92,861	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	市内中核病院への支援 ・医師及び臨床研修医等の確保に対する支援 救急医療体制の確保 ・高度医療機器整備に対する助成 他 ・救急医療施設(救命救急センター等)の運営費の助成 ・小児夜間初期救急診療運営費の助成 ・24時間健康医療相談の実施や救急早見表の配布	要求のポイント	市内中核病院の医師確保のための経費及び救急医療体制整備への助成	事業実施の課題	恒常的な地域医療スタッフの確保
------	---	---------	---------------------------------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		402,617	426,026	23,409	402,486	402,486	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	22,191	21,861	△ 330	21,786	21,786		
	一般財源	380,426	404,165	23,739	380,700	380,700		